

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>●研究の名称 婦人科腹腔鏡下手術におけるアセトアミノフェン注射液の定時投与による術後鎮痛法の検討</p> <p>●研究の対象 2015年1月～2017年12月に当院で婦人科腹腔鏡下手術を受けられた方 572名</p> <p>●研究の目的 術後の疼痛管理は、患者さんの離床や経口摂取などの早期回復にとって重要な課題です。当院婦人科腹腔鏡下手術では、2015年から副作用の少ない鎮痛薬であるアセトアミノフェン注射液の定時投与による術後鎮痛を行ってきました。本研究では診療記録から、この鎮痛法によって十分な術後鎮痛効果が得られているかを評価することを目的とします。</p> <p>●研究の期間 2019年2月から2024年1月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ情報を提供しません。</p>
利用し、又は提供する試料・情報の項目	<p>●研究に使用する試料・情報： 情報：術後鎮痛薬の使用状況、副作用等の発生状況 等</p>
利用する者の範囲	<p>●共同研究機関の名称及び研究責任者 共同研究機関はございません。</p>
試料・情報の管理	<p>●研究責任者</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>浜松医科大学 医学部産婦人科学講座 伊東宏晃</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192          浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号          浜松医科大学          診療科：産婦人科学講座          担当者：伊藤敏谷          TEL：053-435-2309 FAX：053-435-2308          E-mail：toshitou@gmail.com</p>